

SDGsに資する社会課題・地域課題解決のために

品川区の課題解決に向けた提案募集

# ウェルビーイング・SDGs推進ファンド

オンライン説明会

令和8年6月9日（火）

午後4時～5時（要事前予約）

予約申込

▶kikaku-sdgs@city.shinagawa.tokyo.jp

締切：当日正午まで

助成金額

最大

500万円

対面説明会

令和8年6月11日（木）

午後3時30分～5時（予約不要）

品川区役所第二庁舎5階253会議室

SDGsに資する社会課題・地域課題解決に取り組む  
企業・団体等の活動経費を助成します。

募集期間

令和8年

6月1日（月）～6月30日（火）  
午後5時

お申込み  
方法

助成金交付申請書をHPよりDLのうえ、

必要書類を添えてメールにてお申込みください

申込先：ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会事務局（品川区企画経営部企画課内）

URL：https://shinagawa-citylab.jp/wellbeing\_and\_sdgs

メール：kikaku-sdgs@city.shinagawa.tokyo.jp

詳細はHPをご覧ください。



【主催】ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会

# 品川区内の様々な地域課題解決に取り組む 企業・団体等の活動をサポートします

区の財源だけでなく、民間企業等から募る資金を活用し、区が抱える地域課題・社会課題を解決する企業・団体等のプロジェクトに対して助成を行います。事業のPoC/実証実験やイニシャルコストを支援することにより、プロジェクトの将来的な自走を目指します。

|      |   |
|------|---|
| 応募資格 | <p>以下 (1) から (4) のいずれかに該当し、(5) の条件を満たす企業・団体等</p> <p>(1) 日本国内にて次の法人格を取得している団体<br/>一般財団法人、一般社団法人、公益財団法人、公益社団法人、<br/>社会福祉法人、特定非営利法人（NPO法人）</p> <p>(2) 中小企業：中小企業基本法に基づく中小企業者</p> <p>(3) スタートアップ企業：創業5年以内で国内に拠点を持つ上場していない企業</p> <p>(4) 大学、研究機関：大学、高等専門学校、国立・公設試験研究機関、研究開発を行っている独立行政法人及び公益法人</p> <p>(5) 応募時に、過去3年分の財務諸表を提出できる企業・団体等<br/>(活動実績が3年に満たない場合は、最低1年以上の財務諸表)</p> |
| 対象事業 | <p>令和8年6月1日から令和9年2月28日までに実施する次の5つ全てを満たす事業</p> <p>(1) 区の課題に的確に応える提案であり、区を実証実験のフィールドとする事業</p> <p>(2) 公益性のある事業であり、一定の課題の解決や社会的要請に応えることができ、具体的な成果が見込まれる事業</p> <p>(3) 予算の見積もりが適正であり、提案の翌年度以降、助成がなくても提案者によって実施することが可能な事業</p> <p>(4) 先駆性、新しい視点、アイデアなどが含まれており提案者の専門性や強みを生かした事業</p> <p>(5) 国や地方公共団体から補助金等の交付を受けていない事業</p>  |
| 助成内容 | <p>(1) 1年目：最大500万円（事業費のうち助成対象経費の5分の4以内）</p> <p>(2) 2年目：最大300万円（事業費のうち助成対象経費の2分の1以内）</p>   |

※ 予算の範囲内で交付決定します。申請額満額での交付決定とならない可能性があります。

## スケジュール

事業実施期間：令和8年6月1日～令和9年2月28日

|              |                  |      |             |
|--------------|------------------|------|-------------|
| 6月1日～6月30日   | 事業募集             | 1月中旬 | 中間報告        |
| 7月中旬         | 第一次審査（書類審査）      | 3月上旬 | 実績報告        |
| 8月上旬（8月7日予定） | 第二次審査（プレゼンテーション） | 3月   | 調査・助成金の額の確定 |
| 8月下旬～9月上旬    | 助成対象事業決定         | 3月   | 成果報告        |
| 9月上中旬        | 助成金の交付（概算払）      |      |             |

## 昨年度採択事業例

★ トップアスリートの専門的知見を活用したワークショップによる子どもたちの運動体験の質とウェルビーイングの向上

★ 独居高齢者の生活以上を早期に検知するシステムを解決し、自宅でも安心して暮らし続けられる環境を支援

★ 区内中小企業の脱炭素支援に向けて、AIを活用した診断ツールを開発し、コスト削減との両立モデルを提示

★ 子どもの個性を発見し関わり方を提示するAI技術を活用し、「親育ち」（ペアレンティング）事業を活性化